

Q2) インドの生活で日本との違いを感じたことは?

- ・インド人と日本人の性格について違いを感じました。インド人がとてもフレンドリーで積極的だったおかげで、自分自身も積極的にコミュニケーションが取れるようになりました。(大森 彩)
- ・出てくる料理が辛いかわいかわいのかというインドの食事に驚きました。現地の人々が右手だけで器用にカレーを食べていたのを見ましたが、次回行くことがあったら挑戦してみたいです。(勝山穂乃香)
- ・衛生面で日本との違いを感じました。風呂がなく、シャワーだけというのにも驚きましたが、食事中にハエが来てても気にした様子がないのにも驚きました。(三浦聡真)

★インド人のフレンドリーさのほか、食事をはじめとした生活環境の違いに驚いたという感想が多く見られました。

Q3) インドの人たちとの交流の思い出は?

- ・現地の人との交流の思い出は、ZOHOでの運動の時間です。サッカーやバレーなどのスポーツを通じて現地の生徒たちとたくさんのコミュニケーションを取ることができ、仲良くなることができました。(岡村滉大)
- ・ZOHOでの運動の時間に、ルールもわからない現地の遊びに初めて参加したのですが、現地の生徒たちが「SUPER!」などと褒めてくれたのが嬉しかったです。(大森 彩)
- ・ZOHOの生徒と一緒にスポーツをしたことが楽しかったです。運動を通じて現地の生徒と仲良くなれました。また、宿泊したホテルのスタッフがとても気さくでした。いっしょにたくさんの写真が撮れて良かったです。(勝山穂乃香)

★ゾーホーユニバーシティでは生徒たちが一緒に体を動かすための時間が設定されており、そこで積極的なコミュニケーションが取れたという感想を持った生徒が多く見られました。

Q4) 今回の研修で得ることができたと思うことは?

- ・積極的に会話をするのは、自分にとって苦手なことでした。しかし、研修を通して積極的に会話することができました。また、国外に行くことで興味を広く持つことができ、他国への関心も深まりました。(下原灯理)
- ・私は英語での会話で大切なことを学びました。それは考えて正しい英語で話すより、文法などはあまり気にせず、多く話した方が伝わるということです。私はそれを意識したら会話がスムーズに進むようになり、英会話が上達しました。(西田就真)
- ・今回の研修では、前回の参加時に学べなかった文化や食事について学ぶことができました。インドで再会した方や新しく会えた方などの、新しいつながりを大切にしたいです。(三浦聡真)

★海外での生活により英語力の向上を実感した生徒や、異文化への興味を深めたといった感想のほか、2回目の参加となった生徒からは前回知り合った方と再会したという感想も聞かれました。知識だけでなく「人とのつながり」を得た研修だったようです。

高校生インドITサマーキャンプ

8月10日～25日の約2週間、町内の高校生が短期留学による海外研修、「インドITサマーキャンプ」に参加しました。

今年で2年目となるこの研修は、ゾーホージャパンがグループ全体で行っているIT技術者の育成活動として、インド本社が運営している教育機関「ゾーホーユニバーシティ」の協力を得て短期留学するものです。

今年度はゾーホーユニバーシティの分校があるインド南部の「テンカシ」が会場となりました。



～本年度参加した6人～

- ・西田就真(川根高校1年)・岡村滉大(川根高校2年)
 - ・三浦聡真(川根高校2年)・大森 彩(川根高校1年)
 - ・勝山穂乃香(藤枝明誠高校1年)・下原灯理(川根高校1年)
- (写真左上から)

今年のサマーキャンプには、昨年の参加者でゾーホージャパンへ就職した「瀧尾かのこ」さんも現地でのガイド役の一人として参加しました。



今年で2年目となったインドでのサマーキャンプ。参加した生徒たちはどんな体験をして、どんな感想を持ったのでしょうか?

Q1) 現地での学習内容で印象に残ったことは?

- ・現地の生徒の皆さんが私たちに積極的にコミュニケーションを取ってくれたことで、多くの人と話すことができたのが印象に残っています。(岡村滉大)
- ・初めてのインドでとても不安でしたが、現地の人たちの人柄がとてもよく、良い印象を受けました。プログラミングを本格的に学ぶことができ良い経験になりました。(下原灯理)
- ・授業で簡単なゲームを自作したことが印象に残りました。研修前にはプログラミング知識がありませんでしたが、基礎を重ねていくことでできることが日に日に増えていき、プログラミングの面白さや凄さを知ることができました。(西田就真)

★現地の生徒とのコミュニケーションを通して、研修の成果を実感できたという感想が多く見られました。

